

同窓会会員数

(2018年4月現在)

旧高女卒	2,043名
旧因島高校卒	15,206名
旧因島北高校卒	7,852名
因島高校卒	2,732名
計	27,833名

定時制・分校卒業者含む



広島県立
因島高等学校
同窓会報

2019年2月28日発行

発行者 広島県立因島高等学校同窓会
 会長 村上弘文
 事務局 尾道市因島重井町5574
 (因島高等学校内)
 電話 (0845) 24-0708
 FAX (0845) 24-3585

<http://0845.booo.jp/doso/>



因島大橋からの眺望



お元気ですか

因島高校同窓会会長 村上弘文

今年は寒暖の差が大きくインフルエンザが猛威を奮っていますが、皆様方がご健勝でありますことお慶び申し上げますと共に日頃から同窓会の運営に深いご理解とご協力を賜っておりますことに深く感謝を申し上げます。

私達の母校(旧 土生高等女学校・因島高校・因島北高校)も来年には創立100周年を迎えます。(卒業生28,000人) 記念事業実行委員長に新川会計事務所代表である新川征彦氏(昭和38年卒)が選任されて、着々と準備が進行されております。

皆様と共に、盛大に素直にその喜びを分かち合いたいと思います。

一昨年は皆様方のご協力によって「ふるさと納税で島唯一の因島高校を支援しましょう！」と同窓生に呼び掛けて県下で第4位の支援を戴くことができました。さらに、市内諸兄の会社からの寄付によって体育館内に冷風

扇を10台設置することができました。この気運が益々高まることが望まれます。

紙面上であります、心から厚く御礼申し上げます。

私達の後輩諸君がこの環境改善によって、更に一層の成長をし活躍してくれることを期待しております。

一方、最近では「しまなみ海道サイクリング」がマスコミにも大々的に取り上げられ多数の人々の来訪を受けその存在が世界的にも認知度が高まりました。

私達の因島に明るさが戻ってきているように感じます。

因島高校同窓生がその先頭に立ち教職員、PTAの方々と手を取り合い後輩たちを支援する輪を更に広げようではありませんか。

「ふるさと納税で島唯一の因島高校を支援しましょう！」
(県下第2位目標)

夢に向かって



広島県立因島高等学校
校長 金山正行

同窓会の皆様、平素から母校因島高校へ多大なる御支援・御声援をいただきありがとうございます。深く感謝申し上げます。

昨夏には、体育館に大きな冷風機を10台入れていただきました。40℃を超える中での体育の授業や部活動でしたが、ホッと一息つける風で元気をもらっています。おかげさまで伝統ある体操部は、男女ともに中国大会出場を果たし、女子個人ではインターハイにも出場できました。

ふるさと納税を利用した「広島版『学びの変革』推進寄附金」の制度を使って本校を指定していただいた寄附は、これまでに22件 1,705,000円になりました。現在、情報通信機器を駆使して生徒の学びの質を高めるICT教室を2教室整備していますが、更なる充実のため、電子黒板機能を備えたプロジェクターに接続するコンピュータや書画カメラ等を購入させていただいております。

生徒たちが生き生きと学習する姿をととても嬉しく思います。将来的にはすべての普通教室にICT機器を導入したいと考えております。

この同窓会報が発行される頃は国公立大学の前期試験が行われる頃だと思います。私立大学を含め最後まで全力で頑張っている後輩たちをどうか応援してやってください。

生徒たちの主な活動は後のページで紹介されるものと思いますが、この1年間での大きな出来事は何と言っても本校同窓生ポルノグラフィティとのコラボでしょう。昨年の卒業証書授与式へのサプライズ登場から始まり、6月には市民会館でのイベントに吹奏楽部と音楽選択生が出演、9月にはびんご運動公園でのライブ2日目への全校生徒による合唱出演、残念ながらこのライブは大雨のため中止になってしまいましたが、ここまでのストーリーがNHKの「SONGS」という番組で全国放送されました。雨のリベンジとして10月には市民会館で因島高校だけとのライブで「愛が呼ぶほうへ」の合唱コラボが完成しました。この様子は全国100の映画館でのライブビューイングでスペシャルライブとして上映されました。

生徒たちの一生懸命歌っている姿や飛び跳ねている姿に胸が熱くなりました。

全日制・定時制ともに、様々な行事を通して生徒が活躍できる場を作るよう仕掛けています。おとなしく真面目なだけでなく、弾ける時には弾ける、他を尊重しながら自己主張できチームとして動くことのできる逞しい子どもに育てて欲しい。そして世界の平和と発展に寄与できる人になって欲しいと願っています。

島の最高学府である母校因島高校が、島の子どもたちの力でキラキラ輝くことが、因島地域の将来の発展・活性化につながるものと考えています。因島高校の行く末

は、そのまま故郷の行く末でもあると思っています。現在の因島高校は、様々な生徒のどのような進路希望にも対応できる学校です。一人でも多くの子どもたちが、因島高校入学をめざしてほしいと強く願っています。皆様から是非薦めてください。

また、学校の統合とともに同窓会も「因島高校同窓会」として統合されました。郷愁深いそれぞれの校歌を大切にするとともに、現在の「因島高校校歌(夢に向かって)」をすべての同窓生を紡ぐ糸として、全同窓生で声高らかに歌っていただければと願っています。その校歌の一節にはこうあります。

～私たちは描く 私たちの夢 私たちの未来
そして 希望を胸に 歩き出そう
未来に広がる 夢のために
私たちが描く 夢のために～

未来に広がる夢を子どもたち自身が描き、夢に向かって希望をもって歩き出すために、今後とも、母校因島高校で学ぶ子どもたちへ温かい御支援・御声援を賜りますようお願い申し上げます。



因島高等学校 全日制課程 平成30年4月～

4月9日(月)、91名の新入生を迎え、入学式を挙行了しました。

金山正行校長が、因島高校校歌の副題～夢に向かって～にあるように、大きな夢、目標を持って充実した高校生活を送ってほしいとの願いを込め、式辞を述べました。それに沿えるように、新入生代表の青山優瑞さんが爽やかに宣誓を行いました。

新たな青春の1ページを因島高校で作り、これからの社会をより良く生きていく力をしっかりとつけ、因島高校で学んでよかったと思える高校生活を送ってほしいです。



◎1年生集団合宿研修



入学式から6日後、4月15日(日)から、愛媛県の大洲青少年交流の家で合宿研修に臨みました。

集団行動やキャリア教育講座「魔法の質問」、校歌練習などで多くのこ

とを学びました。さらにカヌー体験やクラスマッチもあり、有意義な二泊三日を過ごしました。

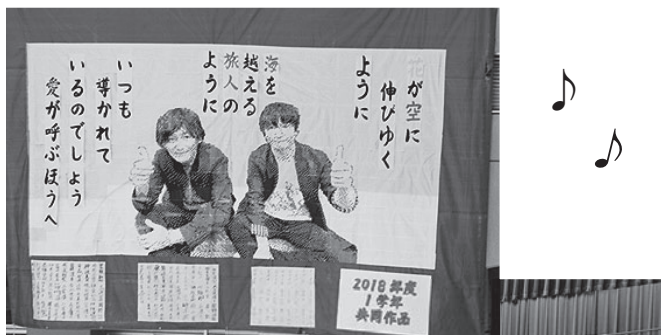
グループワークでは、学年目標である「共に学ぶ」の言葉通り、互いに高めあう活動ができました。



◎文化祭 ～笑因祭～ 開催

6月16日(土)、因島高校文化祭が開催されました。今年の文化祭テーマは「みんなそろって～笑因祭～」。生徒たちは笑顔にあふれ、保護者の方や地域の方々も笑顔にあふれる文化祭になりました。また、生徒たちは放課後、休憩時間を利用して合唱コンクールの練習、クラス企画の準備に励みました。

昨年、卒業証書授与式にポルノグラフィティが来校され、後輩の卒業式を祝福されました。後輩生徒たちは、感謝の気持ちを込めて壁画と全校生徒で合唱をしました。



◎除虫菊まつりに参加しました

5月12日(土)、13日(日)に「おのみち因島除虫菊まつり」(因島フラワーセンター)に本校生徒が発表とボランティアで参加しました。3年生の村上世名さんは、昨年度の「除虫菊の発芽率を上げる方法」に関する研究レポートを発表しました。ボランティアの生徒は、はっさくと一緒に施設の案内や写真を撮り、祭りを盛り上げました。



◎総合福祉センター愛称募集に入賞!

総合福祉センター愛称「はっさく交流館」に決まりました。

「はっさく」の部分は、本校生徒の川野芳郎くんの作品が入賞しました。

◎体育大会

【勇往邁進 ～限界を飛び越えろ～】開催

10月2日(火)、体育大会が行われました。天候の関係で3日遅れの開催になってしまいましたが、当日は天候にも恵まれ、生徒たちは全力でさまざまな競技に取り組みました。保護者及び同窓会の皆さまにも多数ご来場ご参加いただき、大いに盛り上げていただきました。本当にありがとうございました。



◎インターンシップ

7月23日～8月3日、2年生17名と3年生4名が5カ所の事業所でインターンシップ(職業体験実習)を実施しました。事業所ごとに実習期間は異なり、1～3日間の実習でした。事業所の業種あるいは体験の内容としては、看護体験、製菓づくり、造船鉄工体験、保育補助などでした。各事業所の皆さま、ご多用にもかかわらずご協力をいただき、ありがとうございました。また、事業所をご利用の皆さまには、ご迷惑をおかけしたと思いますが、生徒は今回の体験を通して、自分の進路について真剣に考えるきっかけとなりました。



ご協力いただいた事業者の皆様
因島医師会病院・因島総合病院・博愛堂
因島鉄工株式会社・田熊保育園

◎オープンスクール開催

9月1日(土)にオープンスクールを実施しました。近隣の中学校を中心に、中学3年生とその保護者・引率者合わせて162名の参加がありました。

最初の全体会で金山校長のあいさつ、吹奏楽部・書道

部・体操部による歓迎パフォーマンス、学校説明があり、校内施設見学の後、各教科の模擬授業が行われました。



中学生は実際の高校の授業の雰囲気を経験しました。希望者による部活動見学・体験では実際に高校生と練習したり、作品を制作したりして過ごしました。

参加者のアンケート結果では、特に模擬授業・部活動体験で圧倒的に「とてもよかった」「よかった」という好意的な評価をいただきました。

猛暑の中、オープンスクールにご参加いただき、ありがとうございました。

◎インターハイ国民体育大会に出場!



体操部1年生の箱崎若葉さんが、8月に静岡県で行われた全国高等学校総合体育大会(インターハイ)及び10月に福井県で行われた国民体育大会に広島県代表選手として出場しました。両大会とも本校からの女子の出場は、初めてです。

◎2年生修学旅行in台湾

海外交流の一環(4年目)として、10月14日(日)から17日(水)まで、2年生が台湾へ修学旅行に行ってきました。4日間、台湾の文化や習慣に触れ驚きや感動がありました。この経験が世界に目を向けた生徒の将来へとつながればよいと心より願っています。



安康高級中學での熱烈な歓迎!



西遊記の観劇



◎1年生 上級学校訪問

10月11日(木)に、1年生が進路について考えるため、「愛媛大学」「穴吹学園、福山大学」「尾道福祉専門学校、福山平成大学」の3つのグループに分かれ、上級学校訪問をしました。愛媛大学では、因島高校の卒業生との交流もありました。また、福山大学・福山平成大学では本格的な機器を使用した講義を受講しました。穴吹学園・尾道福祉専門学校では、体験活動などを通して将来の自らの姿を思い描くことが出来ました。生徒にとって自らの進路を考えるための良い経験になりました。

理美容師体験



介護体験

◎秋の読書週間

10月31日(水)、因島高校卒業生の橋本和子さんを中心として活動されているグループによる絵本の読み聞かせが行われました。スクリーンに映し出される絵と、楽器で奏でられる音の調和に生徒は魅了された様子でした。また、子どもの頃とは違う新たな絵本の魅力に気づかされた生徒もいたようです。



◎文化週間

11月5日(月)~12日(金)は文化週間でした。因島高校の廊下には授業や部活動の成果の数々が展示され、生徒も作品に見入っていました。



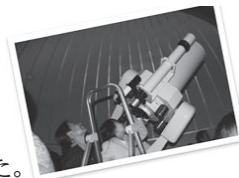
~因高生川柳受賞作品~

- 最優秀賞
「授業中 突然芽生える 恋の種」
- 優秀賞
「あと一步 手前で失速 鯉と恋」
- 佳作
「全国に 愛届けようと みな熱唱」



◎星空散歩アストロツアー

11月9日(金)PTA厚生委員会主催の「星空散歩アストロツアー」を開催しました。星空観察以外にも、「宇宙人がやってきた」と題したゲームを行いながら、理科に親んでもらう企画も行いました。地域の方や小学生とふれあえる貴重な時間でした。当日まで天気にははらはらしましたが、晴れて素敵な星空を観察することができました。



因島高等学校 定時制課程

平成30年4月～



◎入学式 4月9日(月)

金山校長は式辞の中で、校歌「夢に向かって」の歌詞や、校訓「自重互敬」の意味を紹介され、「夢と目標を持って生きよう。気持ちの良い挨拶をしよう。高校生活に慣れてきたら、昼間は仕事をしよう。」とお話されました。

村上同窓会長からは「他人を変えることはできないが、自分を変えることによってものの見方が変わり、成長していくことができる。そのために、ずっと勉強と努力を続けよう。」と、また時本PTA会長からは「仲間と力を合わせて、一人一人の夢に向かって頑張ってほしい。」と、激励とお祝いのお言葉を頂きました。

新入生代表は「因島高校定時制生徒として誇りを持って、有意義な高校生活を送ります。」と、これからの高校生活の抱負を元気よく宣誓しました。



◎離任式 4月12日(木)

今年度の人事異動で商業科の川口貴大先生が福山商業高校に転任されました。

金山校長による転任者紹介の後、植田生徒会長は「授業では笑顔で優しく教えてください、行事ではいつも張り切っている姿が印象に残っています。ノリも良く、生徒とともに行動してくれる先生だとみんなが信頼していました。」と、感謝の言葉を贈りました。

川口先生は5年間の因島定時制を振り返り、「自分の思いをうまく表現できない生徒もいたが、だんだん皆成長していった。小早レースや因島駅伝に共に参加できたことをとてもうれしく思っている。」と挨拶されました。駆け付けた卒業生も参加し、校歌を斉唱しました。



◎新入生歓迎行事 4月21日(土)

午前中は体育館でスポーツ交流。ケガ防止のために「鬼ごっこ」でうすうす汗をかく程度にウォーミングアップ。身体があつたまつてから、ソフトボールバレーです。教員も含めた4チームの総当たり戦です。その後も男子有志vs女子有志など時間の許す限りボールを追いかけました。午後からは、抜けるような青空の中パーベキューです。午前中の運動でお腹を空かして、大量のお肉や野菜、ごはんを頬張りました。新入生が一日も早く学校に慣れる機会を!

と企画しました。準備から片付けまで全員で協力し合って、交流が深まった1日でした。



◎地区総体5/13(日)/県総体6/17(日)

三原高校での地区大会の選手宣誓は、本校2年の村上龍聖君が行いました。本校生徒はバドミントン男子シングルス、卓球男子シングルスに出場し、卓球で県大会に進みました。県立西高校での県大会に出場しましたが、善戦むなしく敗退しました。



◎マナー講座6/7(木)/避難訓練6/21(木)

マナー講座では県警生活安全部サイバー犯罪対策課の金山喜和警部補から「青少年をめぐるインターネット環境と犯罪防止・被害防止」について、お話をいただきました。SNSの誤った使い方により、深刻なトラブルに巻き込まれる事例を学びました。「使い慣れている」とこと「危険性を知っている」とは別です。ルールやマナーを守って使います。

火災避難訓練では、緊急放送をスタートの合図に、避難経路・避難場所、点呼、役割の確認等、実際に火災が起きた想定で行動しました。因島消防署より訓練の講評を頂き、水消火器を使った初期消火の練習を体験させていただきました。いつ起こるか分からない災害に対しての身構えと、地域とつながっておくことが大切と話されていました。



◎豪雨災害/臨時休校 7/5(木)~7/13(金)

西日本を襲った記録的な大雨により、各地で土砂崩れや洪水が発生。因島でも1週間以上も断水が続く、この間学校は臨時休校となった。このため、この時期に予定していた進路ガイダンス、デイキャンプ、安全防犯教室等の行事は中止。また期末試験は予定より8日遅らせて実施するなど、学校での授業や行事に大きく影響した。

◎因島水軍まつり・小早レース 8/26(日)

因島水軍まつり・小早レースに参加しました。当日は照りつける太陽の下、熱戦が繰り広げられました。わが定時制のチーム名は「theていじい」。5年

目の参加となりました。「進め！」の号令のもと一斉にスタート。スタート後まもなく全員の櫂が揃い出しました。予選レースの結果は二位、敗者復活戦に臨みましたが、三位で復活はなりませんでした。初心者が多い中、櫂をそろえ、気持ちを一つに最後まで漕ぐことができ、良い経験になりました。



◎卒業生体験報告会 9/3(月)

卒業生3名が後輩たちのために、仕事の後に駆けつけてくれました。「正社員はアルバイトに比べて責任が重い」「前より早く仕事ができるようになり、自分の成長を感じられる時がある」「整備士になる目標をもって頑張っている」「会社の看板を背負っている」「先輩にかわいがられている」「高校でもっと勉強しておけばよかった」「目上の人に対して敬語が使える」「人間関係とコミュニケーション能力が大切だ」等、大変貴重なアドバイスをしてくれました。



◎合同運動会 9/29(土)

尾道南高校と三原高校と本校の3校の定時制生徒が一堂に会して合同運動会を行いました。当日、本校からは、仕事などで都合がつかない生徒を除く約8割の生徒が参加することができました。開会式では事務局校の尾道南の生徒会長が、豪雨災害での被害についても触れ、開催できることへの感謝と地域の一員としての役割を担おうと宣言しました。合同運動会の毎年注目の種目は、「学校アピール」です。他校でも練習を重ねた見事なダンスや書道パフォーマンスを繰り広げる場面です。本校の生徒は、水軍太鼓をアレンジした太鼓の演奏を行いました。



◎文化祭 11/16(金)

テーマ『人生一度きり 今しかない今を最高のものに!』
17時からのバザーはラーメン・しょうゆめし・焼きそば・おでん等を販売しました。また今回初めての、手作りストラックアウトや的当てゲームも好評でした。同時に書道や陶芸、家庭科作品や国語の自分の仕事を詠んだ「短歌」を写真と一緒に展示しました。続いて19時30分より3階多目的教室でステージ発表でした。学校紹介のライドショー、劇「鶴の恩

返し」、水軍太鼓をアレンジした「因定太鼓」演奏、生徒全員による「定時制音頭」合唱を行いました。短い期間で練習や準備に励み、本番ではその成果が十分に発揮されたものを披露することができました。



◎いんのしま駅伝 12月9日(日)

万田発酵杯第72回いんのしま駅伝競走大会に本校定時制の生徒・職員混成チームが一般2部に出場しました。今回は、7区間中6区間を生徒が走りたすきをつなぎました。補助員としても4人の生徒がランナーをサポートしてくれました。

大会終了後には、差し入れの豚汁、おにぎり、コロッケ、バナナ等を全員でおいしくいただきました。

応援や差し入れをくださった皆様、ありがとうございました。



ふるさとを知ろう ⑤

しほんちゃくしよむらかみしんくろうどよしみつぞう
紙本着色村上新蔵人吉充像

掛軸
縦…58cm 横…38cm

三島村上氏の一つである因島村上氏は出自系統に諸説あり不明な点が多いが、この因島村上第6代吉充の時代は、戦国の世、毛利氏と同盟を結び、歴史上名高い厳島の合戦と摂津木津川口の合戦で活躍し勇名を馳せた時期である。

画面墨書
「芳名 晟清寺殿英中晟春居士」
「俗名 因嶋村上新蔵人源吉充」



■所在地：因島中庄町 水軍城
旧因島市の文化財探訪より

支部だより

東京支部

因島水軍祭りが
サントリー地域文化賞を受賞し
ANAインターコンチネンタルホテル東京で
盛大な授賞式が行われる



因島高校同窓会東京支部
支部長 村田 英夫

昨年9月28日、因島水軍祭りが地域活性化の成功事例として、サントリー地域文化賞を受賞しました。

授賞式には因島から水軍祭り実行委員会(委員長 巻機伸一さん)の関係者、因島観光協会(会長 村上祐司さん)の関係者、平谷祐宏尾道市長さんや尾道市役所の関係者を含めて地元因島から30数名のメンバーと、東京からの参加者は因島村上水軍23代当主村上典史さんをはじめ東京在住の尾道サポーターの会有志の皆さまと、因島高校同窓会東京支部の同窓生・役員20数名の総勢60名近くの皆さまが受賞のお祝いに参加いたしました。

一昨年の、因島を含めての「日本最大の海賊の本拠地芸予諸島」よみがえる村上海賊の記憶で日本遺産の登録に続いての受賞は、地元因島の皆さまだけでなく全国に巣立った同窓生や、因島に関わりある多くの皆さまの誇りであり語り継ぎたい記憶遺産になります。

紙面を借りて、両賞の受賞にご尽力頂いた関係の皆様に感謝いたします。



(授賞式2次会の懇親会)

今年の6月30日(日)、東京支部総会&懇親会を霞ヶ関ビル35F 東海大学校友会館で開催します。

多くの同窓生のご参加、ご来場をお待ちしています。



(新橋方面から見た霞ヶ関ビル) (霞ヶ関ビルからの展望、皇居、国会議事堂)

東京、関西、広島各支部の総会&懇親会は、昨年の広島支部に続き今年には東京支部の開催年に当たります。

東京支部では、昨年の春頃から準備を始めました。前回までは東京目白の椿山荘東京で開催して来ましたが、東京駅から少し遠く乗り換えに時間がかかる事や、元号の改元・オリンピック等の影響か有名ホテルの宴会場の料金高騰問題もあり、目白椿山荘東京から都心近くの霞ヶ関ビル35Fにある東海大学校友会館で開催します。

ご存知のように霞ヶ関ビルは、1968年(昭和43年)に竣工した日本最初の超高層ビルとして知られています。霞ヶ関官庁街の一角にあり国会議事堂や皇居にも近く上層階からの展望も素晴らしい眺めとなっています。

その35階の上層階にあるのが、くしくも今年の箱根往復駅伝で初優勝しました東海大学校友会館です。

3年ぶりの東京支部総会&懇親会の開催に当たり、支部役員手分けして色々会場探しを行った結果縁合ったこの会場になった事を祝福するような見事な正月の箱根駅伝の優勝であ

りました。

多くの同窓生のご参加ご来場をお待ちしています。

昨年7月に、支部役員会&懇親会を、同窓生創業の代々木の居酒屋三陸に参集しご厚意から営業時間前から打ち合わせ会議を行うと共に、居酒屋営業時間に入ると引き続き懇親会へと移行し支部活動の結束を確認しました。

また、昨年12月にも総会&懇親会の開催準備のための打ち合わせ会議を、横浜市鶴見漕艇場会議室で行いました。

会議の前の午前中は4人漕ぎボートのオール漕ぎ練習をし、さすが島育ちの因島生まれは筋が良いとの評価に参加者は喜んでいました。夕方から鶴見駅近くの会場(中華料理、蓬莱春飯店)に移動し、忘年懇親会を岡野徹前支部長夫妻も参加して賑やかな忘年会となりました。

今年の2月中旬には、因島南中学の生徒が修学旅行で東京に来られます。生徒の社会体験活動のプログラムもあり先輩企業の訪問や卒業生OBとの講演・交流が予定されています。今年も東京在住の同窓生でサポートしてまいります。

また、2月23日(土)~24日(日)には恒例の因島物産展が東京銀座の広島県物産館TAUで開催されます。

東京在住の同窓生や因島出身者、因島に縁のある人々にとっては、大変楽しいイベントです。

今年は3年ぶりの支部総会&懇親会の開催年です、東京支部もここ十数年卒業生の東京への大学進学も少なくなり同窓生の高齢化に拍車が掛かっています。出来るだけ多くの同窓生に因島高校同窓会東京支部の総会&懇親会に参加して頂き、青春時代を共に学び親しんだ母校の恩師・先輩・後輩・同級生との旧交を育んで頂きたいと願っています。

これから少し暖かくなった頃から学年幹事会の開催を含めて準備してまいりますので、よろしくお願ひ致します。

改めて皆様には、ご案内致しますが、お誘い合わせの上ご出席をお待ちしております。



関西支部

忘年会



因島高校同窓会関西支部
支部長 村上 晋

あけましておめでとうございます。皆さんにとって明るく楽しい生活が送れる一年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

2019年の亥年は、本来の干支でいえば「己亥（つちのとい・きがいの年）」となります。前回の己亥の年は1959年。時代はまさに高度経済成長期で、この年を代表する出来事は、なんとといっても、皇太子さまと美智子さまのご成婚です。

60年前にご結婚された皇太子が、60年後の今年、天皇を退位されるのは、不思議な巡り合わせを感じます。

亥年の亥はイノシシ。古くから猪の肉は万病に効果があるとされており、無病息災の象徴でもあります。

皆さまのご健康をお祈りいたします。

師走なのに小春日和の佳日、12月1日(土)、イタリアンレストラン「カクチーナケインカント」において役員、学年幹事などによる忘年会を開催しました。

忘年会に先立って、まず、阪神香櫨園駅に集合し、西宮市大谷記念美術館に参りました。美術館は、日本近代洋画、近代日本画、フランス近代絵画を中心とした当初のコレクションに加えて、阪神間を中心とする地元作家の作品や版画の蒐集にもつとめ、1100点以上の作品を収蔵しています。和風邸宅の良さはそのままに、エントランスロビーから流れる滝を楽しむことができ、水と緑の美しい庭園を持つ美術館として、多くの来館者に親しまれています。当日は、昭和レトロキャラクターデザインの先駆者：土方重巳の世界展を観賞しました。

「カクチーナケインカント」は食と音楽が融合したレストランです。テノール歌手でもある店主：角地正範氏の「食と共に音楽を楽しむイタリア文化を日本にも届けたい」との思いから、美味しいイタリア料理と

カンツォーネの演奏を満喫できるお店となっています。シェフ特製のイタリア料理フルコースを味わいながら、テノール、ソプラノ、バイオリン、ピアノのカンツォーネ生演奏13曲を楽しみました。最後に、「ふるさと」と「今日の日はさようなら」を斉唱しました。

当日は借切りで、38名の同窓生が参加し、都会の喧騒を忘れ、贅沢かつ優雅なひと時を過ごしました。なごやかな気分の中で何十年前の青春時代にタイムトリップしてお友だちとの懐かしい思い出に浸りました。

年の瀬にエネルギーを充電して、翌年もさらに実りある生活を送っていかうと励まし合いました。



忘年会の後の夕方までの時間、有志で阪急西宮ガーデンズにウィンドウショッピングに参りました。ガーデンズは平成20年、阪急西宮スタジアム跡地の再開発として建設され、西日本最大級の広さを誇ります。高級志向の人が多い芦屋や西宮を商圈とするため、高級ブランドのセレクトショップが outlet し、専門店街もやや価格が高めの店舗も多いショッピングセンターです。

プライベートですが、カクチーナケインカントの横の音楽教室で、月2回、オペラ歌手の先生に声楽を習い始めました。まず、体幹を上下左右に伸ばす準備体操と発声練習をして、昭和歌謡やカンツォーネを歌います。弓道の呼吸法に似ていますし、年をとっての誤嚥防止にも役立ちます。今年は難関の称号：錬士5段に挑戦します。また、日本語ボランティアとしていろんな国からの外国人との一期一会を楽しみます。

なお、年頭の催し「ひと月遅い新年会」を2月17日(日)港町神戸三宮で開催いたします。まず、ポートアイランドの「神戸どうぶつ王国」を見物して、創作欧風料理「収穫祭」でランチパーティを催し、最後に生田神社にお詣りします。

広島支部

因島高校同窓会広島支部
支部長 小林 章三



謹賀新年
新年を迎え同窓会の皆様、いかがお過ごしでしょうか？

まずは昨年11月は、3年に一度の支部のビッグイベント総会がありました。

1年前には会場を予約決定し、夏頃から準備に明け暮れた次第です。

当日、遠方からお越しの皆様、資料への広告をご協賛いただいた方々をはじめ皆様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。総会の挨拶でも申し上げましたが、昨年はスポーツ界でこれでもかとパワハラ、スキャンダルが噴出しました。

来年(2020年)は東京オリンピックですし、諸々スッキリして、盛り上げてゆきたいものです。

好評だった講演は、万田発酵の38年卒、松浦新吾郎会長にお願いし、「夢の後押し」と題し会社の創業から現在に至る苦労話と成功事例等ユーモアたっぷりに語っていただきました。また、会場の全員に自社製品のサプリメントほかたくさんご提供いただきお土産とさせていただきます。

イベントは、61年卒小林健さんのギターミニライブで、同期の方との

コラボで、懐かしい因島出身のグループUFOのリバイバル“因島早春賦”ほか拍手喝采で会場を和ませていただきました。

その他支部の活動状況としては、前後しますが6月に本部との対抗囲碁交流戦を行いました。会場を本部（因島）と広島と交互で開催し、文字通り囲碁を通して相互の交流・ふれあいの場となっております。

9月には、個人的ですが、元いた会社の社友会（OB会毎年あり）で東京、あくる日在京の同窓同期のクラス会をやり、10数名で思いは即「高校3年生」、懐かしい話で時間を忘れました。年末12月9日には、忘年会をしまして一年の総決算・総会の反省会を兼ね二次会まで盛り上がりました。昨年は猛暑と豪雨で各地に被害が出て、未だ復興中、でまさに“がんばろう広島！！”です。

今年はおだやかな年になるよう祈願いたします。

2月2日一ヶ月遅れの新年会を開催予定しております。恒例のセミナーに恩師松村先生に「丸の抜けたカーブ、4連覇は？」と題して講演していただく予定です。



本部だより

近況活動報告

- 平成30年 8月15日(水)**
 総会・懇親会（ポートピア土生）
 柏原林造先生（因高昭和45年3月卒）による記念講演
 「因島村上氏の歴史」を演題とし、村上海賊の城跡と呼ばれるところを中心に因島村上氏について講演していただきました。
 懇親会のアトラクションでは、金山校長によるクラシックギター演奏をお願いしました。
 （当番回生：平成8年卒業生）
- 9月15日(土)**
 第2回常任委員会（なごみ処八咲）
 総会・懇親会の報告、承認と当番回生の慰労会、次期当番回生の激励会を行いました。
- 9月22日(土)**
 因島高等学校奉仕作業
 生徒、教諭、PTAと協力し、校内の草刈、グラウンドの草取り作業に役員で参加しました。
- 9月29日(土)**
 因島高等学校体育大会
 役員で参加の予定でしたが、雨天にて平日に延期となり、参加できませんでした。
- 11月3日(土) 文化の日**
 広島支部総会（ホテルグランピア広島）
 本部として、因島からバス1台をチャーターし、多数参加いたしました。
 盛会に開催され、2次会、3次会と盛り上がりました。
- 12月21日(金)**
 懇談会（因島高等学校校長室）
 母校 創立100周年記念事業について役員、校長と意見交換を行いました。
- 平成31年 1月11日(金)**
 本部新年役員会（なごみ処 八咲）
 上記の活動報告及び母校 創立100周年記念事業について事前協議し少しずつ組織づくり等、中身を組み立てる作業を進めています。
 現段階では、2020年10月31日(土)に式典開催の予定で、各方面への調整を進めているところです。
 母校 創立100周年記念事業実行委員会の今後の予定は、5月の本部

・支部役員懇親会、6月の常任委員会、8月の総会承認後、早期に実行委員会の設立総会を開催し、本格的にスタートさせることとしています。

平成29年度の決算をご報告いたします

一般会計収支計算書

自 平成29年4月1日～至 平成30年3月31日
 単位 円

科 目	予算額	決算額
収入の部		
前期繰越金	1,975,387	1,975,387
入会金	27,000	294,000
購読申込金	300,000	121,830
広告料	-	1,000,000
雑収入	13	13
計	2,545,400	3,391,230
支出の部		
会議費	100,000	63,948
通信費	300,000	284,527
事務費	200,000	121,460
印刷費	500,000	599,940
総会費	100,000	38,022
事業費	50,000	20,000
旅費	50,000	170,296
什器備品	50,000	-
光熱費	15,000	12,445
計	1,365,000	1,310,638
当期剰余金	1,180,400	2,080,592

終身会費特別会計決算書

自 平成29年4月1日～至 平成30年3月31日
 単位 円

科 目	予算額	決算額
収入の部		
前年度繰越金	3,188,367	3,188,367
終身会費	600,000	148,770
雑収入	67	24
計	3,788,434	3,337,161
支出の部		
一般会計へ繰入	400,000	400,000
旅費	150,000	110,000
予備費	3,593,800	0
計	4,143,800	510,000
当期剰余金		2,827,161

第19回因島高校同窓会 ゴルフコンペ

H30年5月4日(祝)、68名の参加者のなか開催されました。

優勝 渡辺 浩二 (S56年卒)

準優勝 峯松 陽 (S45年卒)

※参加者がやや減少傾向、ふるってご参加下さい

2019年度コンペは

■日時 2019年5月4日(祝)

AM9:00スタート

■場所 京覧ゴルフ倶楽部

開催予定

事務局 村上 公俊 (有)ナイスウエア内
 TEL0845-24-3128

ふるさと便り



西日本豪雨災害 断水

昨年7月、豪雨により西日本で河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生し、死者数200人を超える甚大な災害となりました。因島全土でも床上・床下浸水、土砂崩れが起り、2週間の断水に困窮しました。



浸水した因島スーパー中庄周辺



崩れた重井町善興寺墓所



島内各地に給水場設置



旧田熊中で自衛隊の入浴支援

因島高校OBのポルノグラフィティ 現役在校生と合唱

西日本豪雨災害支援をかねて尾道市制120周年記念に、因島高校OBであるポルノグラフィティ凱旋ライブが尾道びんご運動公園で9月に開催されました。2日目のライブは悪天候により中止となりましたが、後日因島市民会館からの生中継ライブビューイングが行われ、因高生との合唱が実現しました。11月には、大浜町しまみビーチでポルノグラフィティとのコラボ企画で砂浜に旗を掲げるシグナルイベントが開催されました。



尾道市長とポルノグラフィティ



3/16 吹奏楽部演奏会に来てね

3月16日、因島市民会館大ホールで因島高校吹奏楽部の定期演奏会が行われます。曲目「ディズニーメドレー」「花は咲く」「それ行けカープ」など。開場14時40分、開演15時10分。入場無料。OB会長の江藤哲也さんは「因島高校の生徒だけではなく、中学生やOB・OGとの合同演奏になります。少しでも多くの方に聞きに来てもらいたいです。」と来場を呼び掛けています。



【問い合わせ】電話0845-24-1281（因島高校）

2018年度 同窓会を終えて

紡ぐ～海と緑と島心～



2018年度因島高校同窓会実行委員会

実行委員長 柏原 充明



2018年度因島高校同窓会・懇親会にご出席頂きました皆様に感謝を申し上げます。

今年度は昭和52年・53年生まれの同期生が当番回生として開催致しました。

今回、当番回生として実行委員を立ち上げた時、諸先輩のように上手くやり遂げる事が出来るだろうかと不安ではありましたが同窓会本部役員の皆様と集まってくれた沢山の同窓生の頑張りのお蔭で無事終える事が出来たと感じております。

2018年度のテーマである「紡ぐ～海と緑と島心～」は海と緑に囲まれた環境で育まれてきた歴史、人との繋がり、受け継がれる文化というものを同窓会と

いう世代を超えた集まりの中で改めて感じながら、この度人生の節目を迎えた私たち当番回生がお世話をさせていただき中で、原点に戻り、先輩方が紡ぎ、繋いできた島心と触れ合うことが出来るような会になればという思いが込められております。

総会の中で行われた柏原林造氏による記念講演「因島村上氏の歴史」はスライドを使いながら丁寧に講演して下さり因島村上氏の歴史に対する造詣が深まりました。懇親会は因島高校校長の金山先生によるクラシックギターライブからスタートしました。マリアルイサ「さくらさくら」「禁じられた遊び」と3曲を演奏して頂き、その優しい音色に大変感動致しました。

アトラクションの一つであるビンゴ大会も、同窓生による軽妙な司会で大変盛り上がったと思っております。最後に会場に流れた因島高校の歴史スライドショーを見ながらテーマの中にもあります先輩方が紡ぎ、繋いできた島心と触れ合う事が少しは出来たのではないかと考えております。

私は、因島高校同窓会の活動を通して色々な事が勉強になり楽しい思い出も出来ました。

時期当番回生にも、楽しみながら頑張っておきたいと思っております。

ありがとうございました。

終身会費納入者名簿

平成31年1月20日現在

終身会費を納入された方を掲載し御礼といたします。振込後、ご逝去された方もおられます。

昭和15年卒 松浦 幸子 昭和17年卒 森 春子 昭和19年卒 織田美恵子 昭和20年卒 古江登喜子 佐藤カツ工 昭和21年卒 越智 良子 柏原 初音 藤岡 光恵 水岡登喜代 昭和22年卒 菅原美智子 古江登喜子 昭和24年卒 西原千佐子 昭和25年卒 石田 眞 大石和二郎 行年 恒雄 長谷部利朗 原 眞事 福原 千秋 堀田 澄子 藤井 幸子 村上 武夫 矢田部文武 四辻 玄也 昭和26年卒 井川 勝登 柏原 邦詳 田頭 猪市 田坂 幸夫 原山 晃 道原 伸司 村上健一郎 毛利 格郎 昭和27年卒 宇里 恭子 大西 洋一 大沼 泰子 岡野 英司 小山 恵 金野 桂子 喜井 幸子 高橋 重喜 麓 泰周 村上 克司 村上 敏明 村上 守孝 村上 安子 八木 安子 山本華應里 湯水 玲子 昭和28年卒 磯部 眞人 円福寺祐三 大出 徳七 岡野サ工子 小川 和子 小川 操 柏原 悦子 柏原 鈴江 柏原 忠武 金山 裕子 神原美奈子 田頭誠治郎 檀上 昌也 豊田 寛明 中野紀久子	昭和15年卒 楠原 義夫 錦 利江 藤井 正友 藤井 充 三浦 孝 美野喜美徳 村上 久澄 村上 順子 森 千鶴子 越智 泰松 山中 惇子 藤岡 紀代 矢野 功 昭和29年卒 今井 洋子 岡野 幸由 柏原 金枝 黒田 弘子 佐藤千鶴子 須永貴美子 田頭 孝枝 高谷 卓兒 田中 善造 中空 善彦 福原 哲夫 本田 昭夫 村上 節子 村上 裕亮 若林 昭夫 岡 溢子 岡野スエミ 岡野代江美 越智 逸幸 柏原 忠幸 田坂 名 佐藤 恒人 嶋 康恵 村上直子 瀧澤 秀子 新田 郁子 橋本昌史 岡野 森政 原山 親治 藤原 嘉子 榎 善高 巻幡 敏秋 万福 須美 村上 栄昭 村上 馨 村上 眞幸 山崎登志雄 昭和31年卒 青山 義彦 赤松 慧子 富田 富子 久保綱枝 大森 義弘 岡野貴美子 織田 典之 柏原 伸 柏原 勝 金山 功男 岡野 兼友 鳥田 佳子 川道 治雄 木曾 清子 木村 伸子 木村 悠治 杉本 淳 竹中 啓修 寺坂 俊明 寺園 榮子 土居 通彦	中居 憲吾 中空 澄子 橋岡 澄子 藤井松太郎 麓 實 宮地 敏子 村上 圭 村田 弘江 青井 武文 秋山 義朗 安達 英一 今治 孝之 大西 満 小川 隆子 育子 光 定成 寛司 田頭 圭子 田頭 忠行 徳田八重子 中野 順子 中納田鶴子 堀本 昭子 松下 禮子 的場 和博 水谷 幸夫 村上 美文 村上 文武 村上 眞子 村上 喜武 森 雅彦 安達 幸子 伊賀 訓之 石井 弘博 岡 和子 岡島 陸子 岡野 澄子 岡野 達郎 岡野 徹 岡野 征治 岡野 保彦 岡本 矩一 金丸 博彰 金丸 誠子 小田 洋造 河林 操 川本 勝一 小林 一三 佐々木幸子 高橋 俊英 富田 幹子 豊原 幹子 中辻美津子 中西智佐子 八田 雅得 原山美千子 藤木ムツコ 松浦 興一 松浦 正文 松田セツ子 宮地 芳 村上甚十郎 村上 博義 村上 福造 山中 弘子 山根 由則 昭和34年卒 青井 重幸 岡田 茂 岡野 祥次	柏原トヨコ 加藤 隆誠 金久 潔 川上 崇哲 桑原 保都 近藤 昭義 定成 恵美子 塩谷 弘美 田頭 康生 藤井 輯子 藤井 菊延 藤井 正 宮地 康福 村上 公夫 村上 千代子 村上 安弘 村上 洋造 村上 良一 利一 恵 山崎 眞 和田 敦子 秋重 和子 稲田 睦子 太田 倫子 大竹キミ子 武郎 隆 大場 謙吉 小笠原ミツ子 日下 享子 児玉 洋美 新庄 伶三 岡野 寿美子 関野 美子 田島 治子 橋本 博弘 花岡 秀三 細谷 如水 巻幡 俊郎 村上 忠 坂井 雄蔵 村上 早苗 山岡 尚徳 吉田 一司 岡本 和彦 青山 邦彦 岩部 和弘 大西千恵子 岡野 浩司 岡野 芳郎 押川 君代 貝原 孝久 川澄 紀子 里田 眞規子 白石 勝彦 白須 克己 田窪 宏臣 寺西 重郎 中山 國昭 野原のり子 平野 幸江 藤井美代子 国明 禮子 丸本 邦史 村上 武憲 村上 寛	村上 浩 石井 宣子 大出 元紀 岡田 正子 柏原 正氣 後藤 徳昭 酒井 健次 高橋 隆子 田口 美子 竹嶋 恭子 原山千恵子 森本 昇 八幡 程子 山形 惇子 胡本 實 岡田 正之 岡野 庸子 岡野 直樹 岡野 秀人 岡本 正之 折原 晴子 柏原七三子 峯松 豪毅 河井 實 黒木 紘子 小林千寿恵 近藤トシ子 白石 桂子 田頭 晴美 中山 隆 武田 俊隆 花岡 角雄 藤井 鏡一 松井千代美 松浦新吾郎 永井 晃 花田 純子 平田 弘 藤井 精二 藤野 典子 横 政敏 松浦 民江 松浦 史恵 松浦 明子 宮本 信之 向井伸次郎 村上 彰 村上 一城 村上 弘二 村上 正二 村上 晋 村上 徳明 村上 広志 村上 安正 村上 吉見 村上 森 沼田 恵子 星野 絢子 前野 健二 松尾恵津子 村上 和夫 村上 徹憲 村上 祐司 村田 積徳 森上 智揚 守本 智子 弓場美津子 吉田 京子	昭和40年卒 京子 義文 相木 貴代 井川 善崇 井口 藤美 茨木 幾造 馬日 祐二 大出 一美 岡田 晃 岡野 啓子 小江 直美 小沢 賢祥 甲原 輝男 柏原 健太郎 勝島康次郎 上村 英子 河崎 積 木曾 啓之 清水 徹 熊倉 公子 合田 絹江 後藤 静江 小林 章三 笹田 保男 佐々木美子 鮎川 昭 田頭 浩恵 高橋 甫 武田 幸彦 竹本登美江 田中 恭子 豊貞久美子 永井 四郎 花田 純子 平田 弘 藤井 精二 藤野 典子 横 政敏 松浦 民江 松浦 史恵 松浦 明子 宮本 信之 向井伸次郎 村上 彰 村上 一城 村上 弘二 村上 正二 村上 晋 村上 徳明 村上 広志 村上 安正 村上 吉見 村上 森 沼田 恵子 星野 絢子 前野 健二 松尾恵津子 村上 和夫 村上 徹憲 村上 祐司 村田 積徳 森上 智揚 守本 智子 弓場美津子 吉田 京子	昭和40年卒 京子 義文 相木 貴代 井川 善崇 井口 藤美 茨木 幾造 馬日 祐二 大出 一美 岡田 晃 岡野 啓子 小江 直美 小沢 賢祥 甲原 輝男 柏原 健太郎 勝島康次郎 上村 英子 河崎 積 木曾 啓之 清水 徹 熊倉 公子 合田 絹江 後藤 静江 小林 章三 笹田 保男 佐々木美子 鮎川 昭 田頭 浩恵 高橋 甫 武田 幸彦 竹本登美江 田中 恭子 豊貞久美子 永井 四郎 花田 純子 平田 弘 藤井 精二 藤野 典子 横 政敏 松浦 民江 松浦 史恵 松浦 明子 宮本 信之 向井伸次郎 村上 彰 村上 一城 村上 弘二 村上 正二 村上 晋 村上 徳明 村上 広志 村上 安正 村上 吉見 村上 森 沼田 恵子 星野 絢子 前野 健二 松尾恵津子 村上 和夫 村上 徹憲 村上 祐司 村田 積徳 森上 智揚 守本 智子 弓場美津子 吉田 京子	戸田 和孝 豊田 周作 中島 君江 中津ハナ工 平山 光彦 久保 哲 榎谷 雄三 松浦 暁美 松原 朝雄 松原 るみ子 光田 実 峯 美代子 村上 克己 山下 幸 昭和42年卒 石田 文枝 稲垣真理子 岡野 修作 岡野 鉄春 柏原太久男 神辺由起子 近 佳代 坂田由巳子 坂本 慎治 笹垣 三從 島田 民雄 中郷 徹 中浜 俊二 永井 太三 浜本ミツ子 益子 唯水 宮川 正博 宮地 秀訓 村上 寛治 村上 篤道 村上 眞弓 村上 英夫 山田眞由美 山岡 常正 吉川 幹男 昭和43年卒 池田 誠 池嶋 昭吉 岡野 和志 岡野 耕三 岡野 俊介 岡野 則子 岡本 和信 柏原 陽子 金子 茂則 金子 政行 河内 章子 新谷 前俊 田中 省自 田中 啓恵 谷本 重美 津口 哲人 寺西 勇 戸田 賢二 中山 眞一 西元 久雄 浜床 和明 春川洋一郎 堀田 弓子 益川 寿美 益田 實 松浦 暁子 松浦 節子	重子 隆司 博 龍二 正史 厚子 和志 潤 省吾 富男 村上 光 村上 博子 麗子 光 光子 和美 信子 彰 勝則 憲明 俊典 隆文 寺坂 正明 中根 範之 長崎 亮 秦 香 田 早苗 平間 志津子 藤川 麻理子 古市 澄子 古川 紀子 松浦 昌枝 宮地 敏也 宮地 弘子 宮地 麗子 村上 恵子 村上 進一郎 村上 譲 村上 秀夫 村上 弘文 村上 誠道 山本喜代登 井川 泰道 馬越 豪一 榎本 清文 大山 宜司 岡野 千砂子 岡野 英策 岡野 清秋 岡野 寿史 岡野 正志 柏原 信彦 柏原 正則 柏原 康夫 木下 志津 清政 齊藤 厚子 智子 田頭 克司 田中多喜子 谷本 幹夫 村上 弓場	昭和46年卒 天野 隆文 池原 四郎 大出 光利 岡野久美子 岡野 敏江 岡野 善博 小田 健治 柏原 正忠 川原 光明 川畑 茂子 木曾ヒロ子 木原 昌夫 米内 日出夫 権田 英子 田頭 昇 田中 裕子 田中 紀子 丹所 睦美 寺坂 智子 金山 正明 中根 範之 長崎 亮 秦 香 田 早苗 平間 志津子 藤川 麻理子 古市 澄子 古川 紀子 松浦 昌枝 宮地 敏也 宮地 弘子 宮地 麗子 村上 恵子 村上 進一郎 村上 譲 村上 秀夫 村上 弘文 村上 誠道 山本喜代登 井川 泰道 馬越 豪一 榎本 清文 大山 宜司 岡野 千砂子 岡野 英策 岡野 清秋 岡野 寿史 岡野 正志 柏原 信彦 柏原 正則 柏原 康夫 木下 志津 清政 齊藤 厚子 智子 田頭 克司 田中多喜子 谷本 幹夫	野崎 初江 箱崎 幸保 平木 保範 藤井 孝司 麓 博己 巻幡 昌美 益田 典昭 松浦 充枝 三木 利幸 三橋 浩二 宮地 七重 宮地 孝 宮地 崇行 宮本 照子 村上 佳子 村上 敬之 村上 政司 村上 隆裕 村上 貴枝 村上 雅敏 山田 義人 山脇 起子 浅海 靖雄 東 信男 井川 善央 石田 健司 川上 秀保 桑原 孝史 小林 明俊 村上 悦洋 村上 典子 矢野 邦夫 四辻 修 昭和49年卒 大森 隆 岡野 卓也 小林 正子 近藤 恭平 浜本 智子 星野 昌史 益崎 秀輝 宮地 正行 村田 昌三 村上 克広 吉原 敬典 池本 弘 泉 久美子 岡野 修覚 岡野 正剛 岡野 隆一 岡田 修一 西尾 悦子 西島 正志 西元 伸 山路 修身 南浦 映子 昭和51年卒 石田 博彦 清政 櫻井 砂原 直美 滝本 秀明 中郷 葉子 本多 久美 松本智恵子 山本 教子 池本 公亮 倉永貴美子	松浦 里美 山中 一秀 昭和53年卒 恵良 上枝 香川 一紀 吉川 利子 小林 一三 佐橋 千春 南 誠二 昭和54年卒 石井 史枝 井上 承子 杉本 礼子 田頭 善郎 大西 光恵 越智 裕文 村上 洋恵 村上 正明 山崎 秋友 秦 裕美 昭和57年卒 長弘 文子 松岡 恭子 焼家 敦朗 井川 和英 木戸 一男 曾我部 正 濱田 佳宏 松浦 正信 昭和60年卒 岡野 主裕 中山 健一 川野 良泰 佐々木園子 西野 明 村岡 聖子 吉本 嘉代 平成1年卒 伊東 満子 井上 誠 岡野 玉枝 小林 徹伸 平成2年卒 菅垣 一志 藤井 秀紀 村上英太郎 村上 伸 大出 彰 平成4年卒 北島 由希 村上 和豊 平成11年卒 水戸 梨沙 村井 義弘 平成15年卒 山下 榮子 平成17年卒 村上 晃輔 村上 理央 平成21年卒 森 美紀子 平成23年卒 砂田 貴恵 田頭 寿郎 若林 喬之
---	--	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--

終身会費の 随時納入を!

同窓生の皆様に、同窓会運営のため終身会費10,000円の納入をお願いしています。母校同窓会の発展のために振込みをお願いします。

同窓会の充実活性化は、母校の発展につながります。是非皆様方にご理解をいただき、終身会費の振込みをお願いいたします。

口座番号 01330-4-109418

加入者名 因島高等学校同窓会

お問合せ 事務局長 村上克広

尾道市因島重井町5574

電話090-1338-1266

終身会費お振込頂いた方には、領収とお礼を兼ねて会報誌を1回のみ、ご送付いたします。

※印刷・送付を一括でお願いしている関係上、確認はしておりますが、終身会費の振り込み用紙が再送されました同窓生の方にはお詫び申し上げます。

「会報誌」の購読を お願いします。

同窓会本部では、会報誌の購読をお願いしています。本会計とは別に独立採算で運営しているため、購読の協力は必要不可欠なものです。

会報誌は、母校や故郷を知っていただける便りです。

会報誌が届きましたら、1,000円の振込みご協力をお願いします。

口座番号 01390-2-40303

加入者名 因島高等学校同窓会

毎号 1,000円

振込用紙を同封しております。

ご協力をお願いします

購読をお願いします。

1回につき1,000円に変わりました。

なお、5年分の購読途中の方には、振込み用紙が同封されていません。

検索クリック!

因島高校同窓会

検索

パソコン検索で「因島高校同窓会」と入力してください。
「Facebook」「YouTube」をご覧ください。

協同組合瀬戸内鉄工センター

理事長 宮地 秀志

広島県尾道市因島重井町5800番地の71 電話 (0845) 24-0696

組合員企業一覧	(有)エイシンテック 代表取締役 岡野 謙吾 尾道市因島重井町5344-6 電話 0845-24-1389	(有)宮地工務店 代表取締役 宮地 秀志 尾道市因島重井町5800-72 電話 0845-24-0292
(有)海盛工業 代表取締役 谷川 弘行 尾道市因島重井町5800-73 電話 0845-24-2517	ビー・シー保全工業(株) 代表取締役 田頭 忠行 尾道市因島重井町5800-74 電話 0845-24-0242	(有)大山工業 代表取締役 村上 宜弘 尾道市因島重井町5800-75 電話 0845-24-2213
(有)四辻製作所 代表取締役 四辻 章 尾道市因島重井町4080-2 電話 0845-26-1230	(株)サンロード 代表取締役 村上 弘文 尾道市因島重井町5424-2 電話 0845-24-3341	

事務局だより

事務局長 村上克広 (S49年卒)

同窓会の皆様、前号会報誌から1年の御無沙汰でした。事務局長就任後、1年と6か月が過ぎようとしていますが、皆様には日頃より励ましやお叱りをいただき有難うございます。不慣れで、不行き届きの点等々、ご迷惑をお掛けしていることも多々あるかと思いますが、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

さて、「本部だより」にてご紹介の通り、2020年に母校100周年記念事業を予定しています。現在、母校校長とも連絡を取りながらその準備に取り組んでいるところではありますが、しかるべき準備が整い次第、実行委員会への参加運営や助言、各事業の準備、実行、更に募金活動等々、皆様のご協力無くしては進めることは出来ません。本会の運営はもとより、100周年記念事業についても更なるご協力を重ねてお願い致します。

又、終身会費の納入や会報誌の購読申込みも続けてお願いしているところですが、同窓生の中で、親族、友人やお知り合いの方にも広報頂ければと思うところです。

話は変わりますが、先日、本年8月の総会の当番回生(平成9年3月卒)から電話がありました。例年通り、そろそろ事務局レベルでの準備の打合せをしたいとの申し出です。日々の仕事に追われ、もうそんな時期なんだと気付かされる電話でした。この総会時期についても年度時期とのずれや、参加し易さの点から、盆休みが本当にふさわしいのかといった議論が前々からありました。直ぐにどうこうすることでは無く、このことについても皆様と議論を深める必要があるのではないかと考えております。ご意見をお聞かせ下さい。

最後になりましたが、母校と同窓会に強い関心をもって、温かく見守っていただけることをお願い致します。

編集後記

因島高校同窓会会報誌は、昨年より年1回の発行となりました。引き続き1回につき1,000円の振込用紙を同封しますのでご協力を戴きたいと思ひます。年1回の発行ということで“中味の充実”をテーマに取り組んで来ましたが、出来ばえをみればあまり変化のない内容で少々反省しております。

本年は、平成から新しい元号へと大きな歴史変化の年となります。期待と不安の入り交ざる中、皆様がいいことがありますよう祈るばかりです。そんな折、来年同窓会は100周年を迎えますが、すでに役員組織も完了し、それぞれの部所で着々と進行しており素晴らしい100周年になると確信しております。

終わりに、同窓会員は勿論のこと多くの皆様に感謝申し上げ今後とも母校因島高校のため、ふるさと因島のために一層のご尽力をお願い申し上げます。

村上 公俊

〒722-2102 尾道市因島重井町5119-3 TEL 0845-24-3128 FAX 0845-24-2004

会報誌に
皆様の思いやニュースを
投稿して下さい!



経済産業省発電設備電気工作物製造認可工場
厚生労働省第1種圧力容器製造許可
小型ボイラー・産業機械溶接構造物
日本海事協会ボイラー・圧力容器製造認可工場

株式会社 サンロード

代表取締役 村上 弘文 (昭和46年卒)
 常務取締役 村上 晃輔 (平成17年卒)

広島県尾道市因島重井町5424番地の2
 TEL (0845) 24-3341 FAX (0845)24-3351
<http://www.kk-sunroad.com>



なごみ処 八咲

広島県尾道市因島土生町1897-37
 TEL・FAX (0845)22-2310
 【定休日】月曜日
 【営業時間】 11:30~14:30/17:00~21:00



クラブ 西安

広島県尾道市因島土生町1897-38
 TEL (0845)22-0258
 【定休日】月曜日
 【営業時間】 18:00~24:00

人と地球の健康のために



因島独特の四季がもたらす「湿度」、「風」、「水」、「土」…
これらの条件が揃った特別な環境と独自の発酵技術によって
植物発酵食品「万田酵素」を製造しています。



自然との調和を図り、
世界の人々の健やかな暮らしを
実現するため、日々努力を重ね、
グローバルな社会への貢献を
目指しています。

創業者・会長 松浦 新吾郎(昭和38年卒)
代表取締役社長 松浦 良紀 (平成元年卒)

ぜひご家族・ご友人と一緒にお願いします



～発酵としまなみの自然に癒されるひととき～

HAKKOパーク ガイドツアーも行っています！

開園時間 10:00-17:00
休園日 年末年始
水曜日 ※下記期間を除く
3/20-4/10
7/20-8/31
12/20-1/10
※水曜日が祝日の場合は
営業します。
お問い合わせ 0120-85-1589
(受付時間 9:00-17:00)
公式HP <http://hakkopark.com/>



Instagram公式アカウントもあります

HAKKOパークの今を知りたい方は

万田発酵株式会社
fermentation

〒722-2192
広島県尾道市因島重井町5800-95
TEL 0845-24-3555 FAX 0845-26-2034
<https://www.manda.co.jp/>